

教育行政の評価と取り組みは

秋元 伸之 議員

議員 教育行政において、学校、家庭、地域社会に様々な問題が山積し、それらに対処すべき教育行政の重要性が問われるところである。

このような中、学校教育において、発達段階に応じ、基礎・基本の定着を図り、自然や人間、文化、社会と関わりを深める中で、豊かな情緒や感性、物事に挑戦していこうという、積極的な態度などの育成が必要であると考える。

そこで、現在までの教育委員会の業績と評価をどの



▲確かな学力の向上を

ように考えるか。また、今後の取り組みと課題は何か。

教育長 現在までの業績の評価については、就任1ヵ月なので、評価すべきでないと考えます。

しかし、戸田市の教育行政を推進する任務を与えられた立場として、現状を把握・分析し、課題を明確にしながら、今後の方向づけをすることが重要であると考えます。

今後の教育行政については、ますます増大する時代のニーズや市民の期待に応

えるため、教育委員会の方針や施策、事業等の情報を発信するとともに、広く多くの意見、提言を求めながら「開かれた教育行政」を推進し、戸田市の教育水準の向上に取り組んでまいります。

教育行政の課題については、第三次総合振興計画に基づき、「個性をみがく人づくりと文化環境を創る」教育の実現を目指し、新たに「確かな学力の向上」を加えました。

これは、学校週五日制や新学習指導要領の全面実施に伴う、学力低下への不安等に応えるためです。

保護者や市民の願い、期待は学力向上であり、一番の課題と考えます。

その解決はたやすいことだとは思いませんが、「人、物、お金」を「いつどのように入投するか」検討をし、総合的に教育水準の向上に取り組んでまいります。

保育園の待機児童の対応策は

熊木 照明 議員

議員 本市は、若い共働きの世帯が多く、保育園に子供を預ける家庭が多い中、待機児童の対応策は。

福祉部長 平成15年度の保育所の待機児童は、23人となっており、2月に新たに家庭保育室1カ所を指定しましたので、こちらの利用も考慮していただきましたと考えております。

なお、平成16年4月開園を目指し、戸田公園駅前及び戸田駅前それぞれ1カ所の民設・民営による誘致を

進めてまいります。

「ろうけん」「福祉の杜」の待機者に対する対応は

議員 少子高齢化が進む中、施設サービスの重要な課題である、特別養護老人ホームへの入所希望者が急増しており、第2特別養護老人ホームなどの整備が急がれる中、「ろうけん」及び「福祉の杜」の待機者数は。また、今後の対応策は。

議員 本市の小・中学校で昨今、アタマジラミが発生しているというが、教育の立場から、どのような指導対策をされるのか。

教育部長 本年度の発生状況は、延べ14名でした。かゆみなどによる学習能力の低下をもたらすため、薬剤師等の助言を受け、予防・駆除方法を文書で知らせております。



▲鬼さんといっしょにはいポーズ

「ろうけん」の現状と待機者への対応は

石井 民雄 議員

議員 「ろうけん」の現状と、待機者への対応は。また、民間参入への支援は考えているのか。

医療保健センター事務長 介護保険の理念であり、在宅を中心におき、運営を行っています。超高齢化社会という社会情勢により、介護の重度化（特に痴呆）、家族の精神的・肉体的負担感、一人暮らし、高齢者世帯、住環境問題等から、施設の利用希望者が増加しているのが現状です。



▲利用希望者が増加しています

入所待機者は74名で、今後の見直しとしては、この4月の介護保険報酬の見直しにより、一層の利用者増加が見込まれています。このままでは飽和状態になり、動きがとれなくなりますが、老健本来の使命である「在宅支援」を見失うことなく、適正な施設運営を目指していきたいと考えています。

民間施設が進出されることは願っており、支援について何ができるか、研究していきたいと思っております。

議員 街路整備に当たり、市の木として制定されている「モクセイ」を街路に植

道路行政について

しかし「モクセイ」は、市の木として制定されているので、適所に植樹をすることによって、アピールしたいと考えています。

議員 旭町沖内線や県道朝霞線などの道路名称ではなく、市民に親しみやすい愛称を考えられないか。

都市整備部長 市内の道路の愛称については「戸田市道路愛称要項」に基づいて、市民に呼びやすく親しまれる愛称を付け、利便性や道路に対する愛着が持てるよう、県道・市道ともに愛称を付けています。要望があれば、検討していきます。

男女共同参画社会実現に向けた取り組みは

遠藤 英樹 議員

議員 「第三次戸田市男女共同参画計画」を策定し、8年という中期計画のもと、具体的な取り組みを行っているが、その具体的取り組みはどのようなものか。

総務部次長 市民が主役の考え方のもと、全庁的な関連事業の洗い出しを行い、関連事業一覧表や集計結果を分析し、それを反映させることにより、さらに施策・事業の拡充を図っていくことを毎年実施してまいります。

議員 ジェンダーを見直すことは必要だが、一切認めないことは危険であり、ジェンダーについて男女間の新たな共通認識を持つことが大切と考える。

しかし肝要な教育の現場では、県立高校の一律共学化問題等、とにかく男女いっしょであればよい、という考えが広がっているように思うが、市の教育における現在の取り組みと、今後の方針はどうか。

総務部次長 教育に当たる者を初め、子供と接する親や大人の理解を深めながら、子供の発達段階に見合った教育に取り組むことが必要と考えております。

議員 活動拠点の整備について、戸田市男女共同参画推進会議の答申を受け、勤労女性センターの見直し、及び施設等の整備に関する答申が出さ



▲見事な包丁さばきですね

れ、来年度予算計上が行われた。

男女共同参画社会が形成される過程では、男性にも女性と同じくらい悩みが存在すると思われるので、両性に目を向けた、男女共同参画社会の共通認識醸成の場としていただきたいと考えているが、答申の内容と今後の市の方針はどうか。

総務部次長 センターを事業展開の拠点と位置づけ、情報、相談、学習・研修、自主活動支援、交流促進等の機能を持たせ、年齢や性別にとらわれずに利用できる施設としていきます。